

のめりこむ、 3ヶ月。

2014年度 プレ・プロジェクト

「プロジェクト」とは何なのか？

新たにスタートする「プレ・プロジェクト」は、約3ヶ月の活動期間の中で、その間に対する自分なりの答えを見つけてもらうプログラムだ。春、秋にそれぞれ異なるテーマが用意されているが、どちらに参加しても、求められるのは「チームで取り組む」「アイデアをかたちにする」「最後までやりとげる」ことである。完成させるための手順はあるが、そこに自分なりのもの見方、考え方、やり方を持ち込めてこそプロジェクト。短期間だからこそ、のめりこみ、つくりあげる楽しさも知ってほしい。



プレ・プロジェクト<春> 「インタラクティブ・インスタレーションをつくる」



人の行為に反応して変化するグラフィックスを生成するプログラムを作成し、鑑賞者が体験できるインスタレーションのアート制作を行います。秋のテーマは「新しい『文具』の企画」を予定しています。

Leader's Comments

今回新たにスタートする「プレ・プロジェクト」。早くからポスターなどで募集をしていますので、「おもしろそうだ」「短期間だしやってみようかな」と気になっている人も多いのではないかと思います。はじめてのプロジェクトであれば、どう考えたらいいか、どうふるまえばいいか、わからないことばかりかもしれませんが、でも、まずは、3ヶ月後の自分が、「やりきった」と言える自分であることをイメージし、前向きな気持ちで臨んでほしいと思います。

土屋誠司(同志社ローム記念館プロジェクトWG委員会委員 同志社大学理工学部准教授)



2014年度 プロジェクト紹介

メンバーたちの問題意識や興味・関心が出発点となる1年間のプロジェクト。選考では、委員から厳しい質問が飛び、何を指すか、また、どのように活動を進めていくつもりでいるか、メンバーの覚悟が問われた。第11期のこれらのプロジェクトが、この1年間でどのぐらいまで高みを目指せるか、大きな期待を寄せている。



RoCoP (Robot Contest Project) RM212

【プロジェクト責任者】橋本 雅文(同志社大学・理工学部教授)

【目 標】NHKロボットコンテストへ挑戦し、優勝を目指す。

【主 な 活 動】●ロボット設計・制作 ●Webサイトの活用による技術伝承と発信 ●子ども向けものづくり教室の企画・運営

ROBOX RM213

【プロジェクト責任者】橋本 雅文(同志社大学・理工学部教授)

【目 標】コミュニケーションロボットの企画・開発ともものづくり教室の実施を通して、ロボットを身近に感じてもらうことを目指す。

【主 な 活 動】●新たなコミュニケーションロボットの企画開発 ●昨年度開発したロボット「くるりん」の改良 ●子ども向けものづくり教室企画・運営

ポータブルラボ RM215

【プロジェクト責任者】大久保 雅史(同志社大学・理工学部教授)

【目 標】スマートフォンやタブレット端末で物理や電気回路などの理科の実験を行うことができるARアプリを開発し、運用を目指す。

【主 な 活 動】●AR技術を活用したアプリ開発 ●教育機関などでの広報活動

macho編集部 RM216

【プロジェクト責任者】二瓶 晃(同志社女子大学・学芸学部助教)

【目 標】キャリア実現をテーマにした女子学生向けフリーペーパー企画・制作・発行を行う。また、コンテストでの入賞を目指す。

【主 な 活 動】●誌面の企画および取材 ●誌面レイアウトおよび編集 ●広告主企業・団体等への営業活動 ●Webを活用した企画・広報活動

プロデューサー養成プロジェクト@木津川市 RM219

【プロジェクト責任者】二村 太郎(同志社大学・グローバル地域文化学部助教)

【目 標】木津川市でのまちづくりプロデュース実践をもとに中学生向けに「プロデュース」を学ぶための教育プログラム開発を目指す。

【主 な 活 動】●木津川市内5中学校の中学生とのまちづくり企画・立案 ●中学生向け教育プログラムの開発 ●各界のプロデューサーによる講演・ワークショップの企画・運営

極める
1年。